

CRC News

Center for Research and Collaboration

特集

大学発スタートアップ創出支援

「Greater Tokyo Innovation Ecosystem (GTIE: ジータイ)」共同機関として活動開始 ほか

INFORMATION

各種イベント開催・出展案内
各種イベント開催・出展報告

TOPICS

東京電機大学 分析センター 講習会受講から利用まで



特集

大学発スタートアップ 創出支援

「Greater Tokyo Innovation Ecosystem (GTIE: ジータイ)」共同機関として活動開始

GTIEは、東京大学・東京科学大学・早稲田大学を主幹機関とした『世界を変える大学発スタートアップを育てる』プラットフォームです。Greater Tokyo (東京圏)におけるスタートアップ・エコシステム形成の実現のため、首都圏を中心にした大学と地方公共団体、VC、CVC、アクセラレーター、民間企業などが結集し、取り組んでいます。

本学では、令和6年度よりこの活動に協力機関として参画し、本年度より共同機関として活動を開始しました。大学発スタートアップ創出をアクセラレート(ハンズオン)する人材を引き続き確保するとともに、GTIE内で企画されるGAPファンドへ応募し、PoC*の継続支援を行います。

※PoCとは、新しい技術やアイデアが社会実装可能か実験したり、試作品を製作し試用したりして、検証することです

GTIE 起業家支援プログラム(エントリーコース第5回)に2件採択

GTIE主幹機関・共同機関における応募において、本学より2件が採択となりました。

① バイオ・医療・半導体製造装置用ワイドギャップベアリングレスモータの開発

工学部 電気電子工学科 杉元 紘也教授

② 宇宙環境・地上環境を含むCMG姿勢制御ソフトウェアのパッケージ化

理工学部 理工学科 電子情報工学系 田中 慶太教授



GTIE GAP ファンド エントリーコース 第5回 2026年2nd 採択チーム一覧



令和8年度 東京都「大学発スタートアップ創出支援事業」事業ステップアップに採択

令和6年度に採択された、東京都「大学発スタートアップ創出支援事業」を経て、更なる支援体制拡充のため、令和8年度同事業へ応募し採択されました。

大学発スタートアップ創出を目指し、令和8年度末、および令和9年度に支援案件の発表、発表に向けたPoCを実施します。他大学と協力し、大学発スタートアップ創出に向けた発表会、医学系の大学も交えたナレッジシェア勉強会や技術交流を行い、スタートアップ創出後も見据えた、ネットワーク拡大を図ります。

東京都「大学発スタートアップ創出支援事業」の取組

令和8年度 ・スタートアップ創出支援人材の補強 ・支援案件の学内公募(1回目) PoCの実施 ・スタートアップ候補案件の掘り起し調査	令和9年度 ・支援案件の学内公募(2回目) PoCの実施 ・大学発スタートアップ創出へ ・学内制度の追加整備
TiB Tokyo Innovation Base	TiBを活用した、他大学との合同発表、技術交流 ナレッジシェア勉強会、SusHi Tech TOKYO への出展

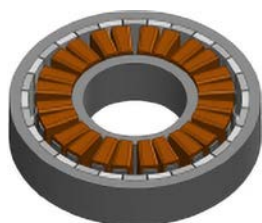
※このページでは、GTIE 起業家支援プログラム採択の内容を紹介します。

バイオ・医療・半導体製造装置用ワイドギャップベアリングレスモータの開発

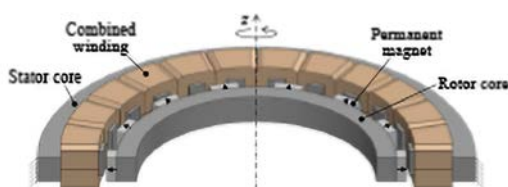
杉元 紘也 教授（工学部 電気電子工学科）

従来のモータに比して、非接触・磁気浮上の回転により、クリーン、長寿命・メンテナンスフリー、高効率・省エネルギー、小形・軽量、高出力

応用分野と仕様 バイオ・医療用攪拌機・ミキサーや半導体製造装置用回転ステージに応用可能なワイドギャップ、薄型高トルク、高い浮上安定性、そして宇宙機用ヒートポンプへの可能性



攪拌機・ミキサー



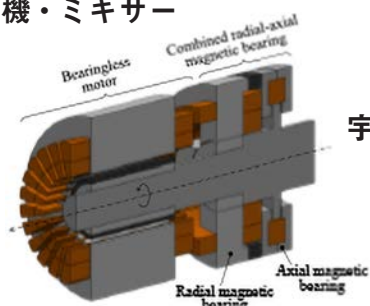
半導体製造装置

関係特許

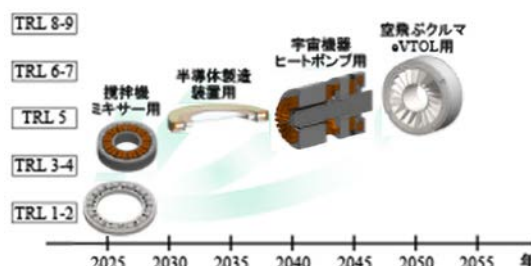
6391358

6327887

5930367



宇宙機用ヒートポンプ



宇宙環境・地上環境を含む CMG 姿勢制御ソフトウェアのパッケージ化

田中 慶太 教授（理工学部 理工学科 電子情報工学系）

姿勢制御を革新！ 次世代 CMG 制御技術

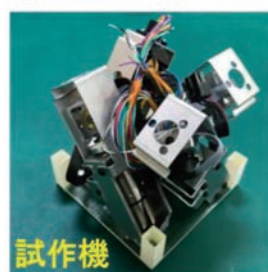
課題 :大型CMG
小型RW(リアクションホイール)

大トルク・大電力だが精度低
高精度・低電力だが低トルク

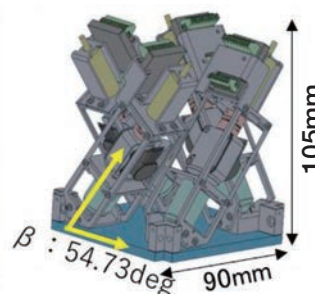
▶トレードオフ関係

小型衛星は「高精度・高速応答」要

解決策 :ハイブリッド型CMG制御技術
多段階トルク制御を可能とする
独自機構と制御アルゴリズム
特許:特願 2025-070333



試作機



ハイブリッド型 CMG

世界初 高アジリティ(俊敏性)・高精度化・省電力化の実現

●お問い合わせ

東京電機大学 研究推進社会連携センター(CRC) 産官学連携担当

TEL. 03-5284-5225 e-mail: crc@jim.dendai.ac.jp

技術相談はこちら▶



研究者情報はこちら▶



各種イベント開催・出展案内

第50回 東京電機大学ME講座を開催します

～先端技術がひらく医療と福祉の未来～

2026年9月29日～12月8日(毎週火曜日・全10回)

(1時限目 18:00～19:15、2時限目 19:30～20:45)

詳しくはこちらから▶



本学第2代学長^{さかもととしふさ}阪本捷房が、日本エム・イー学会(現・日本生体医工学会)を創立したことを縁として、1977年以来50年継続して、ME(生体医工学)分野に関する公開講座を毎年度開講しています。医工学研究者や医師の方など、第一線で活躍する講師陣を擁し、医療と福祉に関わる最新技術の動向と展望、社会的要請、政策などMEに関わる内容を提供しています。

●ME講座 <https://www.dendai.ac.jp/crc/tlo/me/>

東京電機大学 ME(生体医工学)技術者養成プログラム 履修生募集について

本年度で、1977年から50回目を迎えるME講座(後期ME講座)、医療機器国際展開技術者育成講座(前期ME講座)、および指定の大学院ME関連の授業(プログラム指定科目)を受講(課題等提出あり)することで、文部科学省指定の履修証明制度により「ME(生体医工学)技術者養成プログラム履修証明書」を授与します。

大学の学位に比べ、より短期間に修得することが可能で、再就職やキャリアアップに役立つ社会人向けの教育プログラムとして募集を始めました。

3月と8月に申し込むことができ、登録後2年以内の修了を要件としています。ME講座に加え、より深く修得を目指す方のご応募お待ちしております。

●プログラム情報 <https://www.dendai.ac.jp/crc/tlo/1index.html>

●履修証明制度に関する文部科学省webページ https://www.mext.go.jp/a_menu/koutou/shoumei/

本学研究者へのお知らせ

公的研究費の使用に関する理解をより深めていただくために

公的研究費の使用に関する理解をより深めていただくため、「令和8年度公的研究費使用に関する説明会」終了後、理解度チェックシートの提出いただきました。ありがとうございます。ここでは、特に正答率の低かった項目を中心に解説いたします。

●アルバイト出金申請書類の提出期日について

アルバイト出金申請書類の提出は、勤務月の翌月5日までに研究推進担当へ行なってください。なお、支払日は、勤務月の翌月26日(土日祝祭日の場合は前日)です。

●長期アルバイトの労働契約について

本学における複数のアルバイトが通算して3か月以上継続する場合は、労働契約書の締結が必要になります。また、通算して継続3か月未満の場合は、短期アルバイト労働条件通知書が必要になります。

●本学でアルバイトを複数行う場合について

本学でアルバイトを複数行う場合、他の勤務曜日・時間との重複がないことを予め確認してください。また、勤務時間の合計、アルバイト賃金や交通費の重複請求がないことも必ず確認してください。

※令和8年度公的研究費の使用に関するチェックシートの正答は、以下のとおりです。

A1. 東京電機大学 A2. 7 A3. 100 A4. 必要

A5. 金額の多少によらず、本学情報統括責任者による確認を経なければ、契約もしくは発注の手続きを行うことができない

A6. 必ず本人への振込 A7. 必要がある A8. 本学における複数のアルバイトが通算で3か月以上継続する

A9. 5 A10. 5 A11. ある。管理対象物品に管理シール貼付後、確認欄に押印またはサインをし、管財部へ返送する。

A12. 用品6万円以上、備品15万円以上

参考 令和8年度公的研究費の使用に関する説明会資料等

<https://tdu.box.com/s/36gxravw66t9hhfyhvp6ktaq9r04dh6> (学内認証あり)

※2027年3月31日迄閲覧可能

各種イベント開催・出展報告

東京電機大学「ME研究共創ラボ設置記念シンポジウム」開催報告

2026年3月23日(月) 東京千住キャンパスにて、本学教職員・学生、および関連企業の方など144名(内訳:対面99名、オンライン45名)が参加し、「ME研究共創ラボ設置記念シンポジウム」を開催しました。

本学では、ME(生体医工学)分野の公開講座「ME講座」を1977年から、継続しております。本講座が第50回(50年目)を迎えることを記念し、MEについて学内外の研究者、医療機関、民間企業が共同研究を行う「ME研究共創ラボ」を設置し、それを記念して本シンポジウムを開催しました。当日は、各種講演のほかME分野に関する本学教員(18研究室)を紹介するポスター展示・デモンストレーションや本学の「CySec」「ME講座」「D-tec セミナー」の紹介もありました。

日 時 2026年3月23日(月) 13:30～17:50

開催方法 対面(東京千住キャンパス1号館100周年ホール)とオンライン(Zoomウェビナー)併用

プログラム

【挨拶】 射場本 忠彦学長

【来賓ご挨拶】 厚生労働省医薬局医療機器審査管理課 課長 野村 由美子様

一般社団法人日本医療機器産業連合会 会長 山本 章雄様

国立研究開発法人日本医療研究開発機構医療機器・ヘルスケア事業部医療機器研究開発課 課長 岩田 倫明様

【挨拶・講演】 「東京電機大学の理工学研究を横断的に活用するME研究共創ラボ構想」

ME研究共創ラボ 佐久間 一郎 統括ラボ長 兼 総合研究所特別専任教授

【特別講演】 「看護学分野における理学・工学との連携の可能性」

東京大学大学院医学系研究科老年看護学／創傷看護学分野 仲上 豪二朗教授

【講演】

1. 「IoTプラットフォーム研究:研究の実績と今後」

工学部電気電子工学科 植野 彰規教授

2. 「医療機器開発・活用促進化技術研究」

理工学部理工学科電子情報・生体医工学系 本間 章彦教授

3. 「リハビリ領域における医工連携とその実例」

工学部機械工学科 井上 淳教授

4. 「QST高崎との連携による次世代生体医工学研究拠点の構想」

理工学部理工学科電子情報・生体医工学系 矢口俊之教授

5. 「分子・細胞・動物を対象とした包括的研究手法を通じた新規なモダリティと治療法の提案」

理工学部理工学科生命科学系 村松 和明教授

6. 「現場の具体的な課題解決実践に基づく、ものづくりの具現化体験プログラム構想」

工学部先端機械工学科 桑名 健太教授

【ポスター展示／デモンストレーション】



射場本学長 挨拶



佐久間特別専任教授 講演



仲上東大教授 特別講演



野村厚生労働省課長 挨拶



山本医機連会長 挨拶



岩田 AMED 課長 挨拶

第10回 東京電機大学医療機器国際展開技術者育成講座 ～来たれ若き未来の中核医療機器技術者～ 2026年5月15日～7月17日(毎週金曜日・全10回)

第10回 東京電機大学医療機器国際展開技術者育成講座を開講しました。

医療機器は、今大きく国際展開の時代に入っています。先進国はじめ多くのアジアの国々で高齢者の人口が増え、また生活水準の向上に伴い生活習慣病の人が増え、より高度の医療を受けたいとの要求が高まっています。

本講座は毎年開講し、本学教員による技術基礎教養に加え、国際展開を図る上でのビジネスモデルと政府支援措置、法規制の違い、市場の特色、海外市場向けの設計能力、メンテナンス体制の構築等の視点から、アジアを中心とした国際展開に必要な教養について、体系的教育を行います。

講師には、政府及び政府系機関、主要な医療機器企業、国際展開支援団体等からの第一線でご活躍の方々をお招きしています。未来に向けてグローバルな医療機器の中核技術者をめざす方々の受講をお待ちしています。

各種イベント開催・出展報告

令和8年度 第2回CRCフォーラム「カーボンニュートラル Road to 2050」開催報告

2026年6月18日(木)及び7月2日(木)東京千住キャンパスにて、本学教職員・学生、および関連企業の方など50名余りが参加し、「カーボンニュートラル Road to 2050」のテーマで開催しました。昨年度も同一のテーマで開催しましたが、今回は、サブテーマ「～建築分野における電気・機械・情報・化学技術の横断的な活用～」のもと、建築分野における学部・学科横断的な技術活用の広がりや他分野コラボレーションの重要性に焦点を当て、1部では講演会、2部はキャンパス見学会の2部制で実施しました。

プログラム第1部

日 時 2026年6月18日(木) 17:15～19:00

会 場 対面(東京千住キャンパス 1号館丹羽ホール)とオンライン(Zoom ウェビナー)併用

招待講演 「エネルギー企業における電気・機械・情報・化学・建築技術の活用およびコラボレーション」

東京電力エナジーパートナー株式会社カスタマーテクノロジーイノベーション部スペシャリスト 佐々木 正信 氏

講 演 「建築設備分野における電気・機械・情報・化学技術の活用:千住Cを事例として」

未来科学部 建築学科 百田 真史 教授

総 括 本学 日高 邦彦 客員教授

プログラム第2部

日 時 2026年7月2日(木) 16:00～18:00

会 場 東京千住キャンパス

内 容 東京千住キャンパス省エネルギー計画と実績、同施設・設備見学
未来科学部 建築学科 百田 真史 教授



「大学見本市2026～イノベーション・ジャパン」出展報告

本イベントに本学のシーズを6件出展しました。

日 時 2026年8月27日(木)、28日(金)

会 場 東京ビッグサイト 南展示棟 南1ホール

内 容 大学等シーズ展示、大学認定ベンチャー企業約300件の技術を展示する、日本最大級の産学連携マッチングイベントです。

出展分野 カーボンニュートラル・環境／健康・医療／AI・情報通信／食料・農林水産船舶海洋・航空宇宙・極限領域／インフラ・防災・安全

主 催 国立研究開発法人科学技術振興機構(JST)

本学出展

①カーボンニュートラル・環境分野

バイオ・医療・半導体製造装置用ベアリングレスモータ

工学部 電気電子工学科 杉元 紘也 教授

②健康・医療分野

放射線がその場で見える! 2次元線量率リアルタイム像
視野の欠損を再構成するための多視点カメラと画像再構成方法
全ての人に自由で安全な移動を提供する電動車椅子

理工学部 理工学科 理学系 石井 聡 教授

工学部 先端機械工学科 桑名 健太 教授

工学部 先端機械工学科 高畑 智之 教授

③AI・情報通信

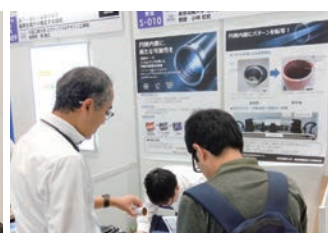
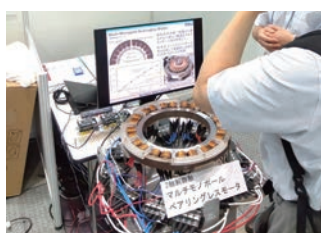
未来のソフトウェア開発 ー自動バグ修正システムー

システムデザイン工学部 情報システム工学科 阿部 清彦 教授

④インフラ・防災・安全

フォトマスクシートを用いた円筒内面露光技術

工学部 先端機械工学科 小林 宏史 教授



東京電機大学総合研究所「研究成果発表会」開催報告

2026年8月24日(月) 13:00~17:00 東京電機大学 東京千住キャンパス1号館

総合研究所による今年度の「研究成果発表会」を開催しました。同研究所は、昭和56(1981)年に設立の全学的な研究機関で、実学を重んじる大学の理念に基づき、社会のニーズに合致した実践的な研究課題に取り組んでいます。「研究成果発表会」は、本学教員の幅広い分野にわたる研究成果を広く一般に公開するため毎年開催しており、今年度は、昨年度に終えた研究課題について、その成果を発表しました。

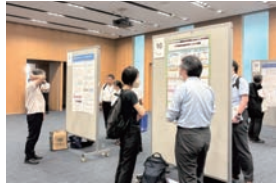


特別講演

13:10 ~

No.01 先制医療に資する非接触心電図の就寝検査に係るトランスレーショナル基盤研究

― 臥床心電計による不整脈検知の橋渡し研究 ―
植野 彰規 教授 工学部 電気電子工学科



口頭発表

14:00 ~

No.02 環境配慮型接着剤レス接合フィルムの創出を目指した大気圧プラズマ表面改質による直接接合メカニズムの解明

― 接着剤を使用しない高機能な接合樹脂フィルムの開発 ―
金杉 和弥 准教授 工学部 電気電子工学科

14:15 ~

No.03 ノズル先端形状と鑄造条件の最適化によるAC7A合金双ロール鑄造板の表面品質向上

― 鑄造材から展伸材へのアップグレードサイクル実現に向けて ―
黒龍 星七 特任助手 総合研究所

14:30 ~

No.04 有機薄膜太陽電池に理想的なナノ秩序構造の直接描画

― 理想的な有機薄膜太陽電池作製に向けた構造制御 ―
鈴木 遼 さん 物質生命理工学専攻

ポスター発表会

- 01 宮崎 翔 准教授
理工学部 理工学科 生命科学系
植物が放出するテルペン化合物の生理的意義の解明と発生抑制を志向した化合物制御剤探索
― イソプレネン放出を制御する新規阻害剤の開発 ―
- 02 大西 謙吾 教授
理工学部 理工学科 電子情報工学科
脊椎外傷の術前計画用
仙髄部感覚機能検査システムの開発
― 指圧圧提示の再現性を高める可視化ベースの検査支援 ―
- 03 高橋 俊介 准教授
理工学部 理工学科 生命科学系
バイオテクノロジーツールの新境地:
カスタムデザイン融合 DNA ポリメラーゼの創出と応用
― PCR をもっと正確に、もっと使いやすくする次世代酵素の開発 ―
- 04 荒船 龍彦 教授
理工学部 理工学科 電子情報工学科
小児救急用骨髄穿刺トレーニングシステムの開発
- 05 趙 崇貴 助教
理工学部 理工学科 電子情報工学科
視覚障害者の白杖歩行支援に向けた
仙髄部感覚機能検査システムの開発
― 白杖歩行時の死角の把握 ―
- 06 武井 裕輔 助教
工学部 先端機械工学科
救急救命時の使用を目指した
脈拍測定デバイスの開発に関する基礎的研究
― 触れるだけで計測可能にする手の機能拡張を目指して ―
- 07 近藤 通朗 特定教授
教養教育センター 数理・データサイエンス系
L- ファジィ集合における L- ファジィ関係の研究
― あいまいな関係を数学的に考察する ―
- 08 渡邊 祐子 講師
システムデザイン工学部 デザイン工学科
聞き取り困難 (APD) 評価のための
バイノーラル・マルチトーンノイズの開発
― パラメータ可変バイノーラル音源アプリで広く APD スクリーニング ―
- 09 池田 雄介 教授
未来科学部 情報メディア学科
機械学習と物理モデルを用いた
音場制御に関する研究
― 物理法則を学ぶ AI が、音場を自在に操る ―
- 10 武政 誠 教授
理工学部 理工学科 生命科学系
スマートフォン搭載 3D スキャナを利用した
おいしさを感じさせる新世代食感分析システム開発
- 11 渡利 久規 教育教授
理工学部 理工学科 機械工学科
冷間成形可能な軽量マグネシウム合金の開発とその実証性評価
- 12 五十嵐 洋 教授
工学部 電子システム工学科
手で憶える学習を促進する機械操作熟達支援
― 振動刺激が生み出す『さりげない』操作アシスト! ―
- 13 ゲネック ベンジャミン 准教授
工学部 機械工学科
電磁バリス溶接法による Al/Cu および Cu/Cu 接合部の本質的強度評価
― 電磁バリス溶接を強化するための新たな手順の開発 ―
- 14 岩佐 康弘 准教授
教養教育センター 人文・社会系
初産後 1 年間の母親の精神的健康に繋がる
父親のアイデンティティ発達の解明
― 父親アイデンティティは母親の産後メンタルヘルスを支えるか ―
- 15 石原 美彦 助教
教養教育センター 人文・社会系
大学女子サッカー選手のトレーニング負荷と
体力・傷害特性に関する追跡調査
― 女子サッカー選手のトレーニングと怪我に関する研究 ―
- 16 菅宮 友利奈 助教
未来科学部 ロボット・メカトロニクス学科
臨床訓練のための
学修サポートシステムのフィードバック開発
― 一人の言動の理解システム ―
- 17 桑名 健太 教授
工学部 先端機械工学科
臍帯切断デバイスの実用化に向けた機能改善
― 迅速にへその緒を切る「臍帯切断デバイス」の開発 ―

- 18 松谷 巖 准教授
理工学部 理工学科 機械工学科
エバネッセント光と金属ナノ粒子の
相互作用による熱源を用いたインクジェットの実現
- 19 金杉 和弥 准教授
工学部 電気電子工学科
QCM 型 DLC ガスセンサの開発
― 貴金属レス・室温動作可能な水素ガスセンサ ―
- 20 宮元 大地 さん
電気電子システム工学専攻
多様な種類判定のための
次世代浮腫測定デバイスの開発
― 「むくみ」で「健康」を測定する! ―
- 21 宝田 悠 さん
情報学専攻
ヒトの適応的学習率調整メカニズムの解明
― 成功に喜ぶべき環境、失敗を警戒すべき環境 ―
- 22 小林 航大 さん
電気電子システム工学専攻
学習者モデルの提案による
人間の指示手法の解析とアシストの実現
― 仮想生徒とのインタラクションを人工知能で実現! ―
- 23 高 悦 さん
物質生命理工学専攻
小麦 LOX- III 発現酵母株による
グルテニンサブユニット構成変化機構の解明
― グルテニン構造制御による製パン特性の改善機構の解明 ―
- 24 山田 裕斗 さん
電気電子システム工学専攻
高スロット巻線占率アルミニウム巻線の
熱解析および温度測定による交流損失集中箇所の推定
― 巻線温度と巻線交流損失の関係 ―
- 25 所 雅人 さん
物質生命理工学専攻
微細藻類細胞内部に蓄積された
銀ナノ粒子の可視化技術の開発
― 藻類細胞を利用した低環境負荷型銀ナノ粒子合成と局在可視化 ―
- 26 マルボン ロナルド ウィリアム さん
情報通信メディア工学専攻
Leveraging Generative AI to Develop
an Engaging English Learning Game for ESL Students
― Making AI-Generated Stories Match Students' Reading Levels ―
- 27 横須賀 天臣 さん
情報学専攻
人間の強化学習における
目標達成に向けた探索行動の解明
― 目標設定が人間の探索を変える ―
- 28 花場 芳嗣 さん
情報学専攻
自然言語から和声進行感覚を獲得する
学習システムの開発とその評価
― 音感学習用ソフトウェアの開発「English To Wasei」 ―
- 29 山崎 智史 さん
機械システム工学専攻
円筒内壁に衝突する放射状に広がる不足膨張噴流の
圧力変動と振動メカニズムに関する研究
― 放射状に広がる衝突噴流の渦の発生周期に関する調査 ―
- 30 佐藤 元 特任助手
総合研究所
形状を考慮した深層学習による時間領域の
室内音場推定
― 部屋の形から音の広がりを予測する ―
- 31 伊津 紀宏 特任助手
総合研究所
液体浸漬冷却の冷却性能と冷媒の絶縁耐力を
活かした電力変換回路の高密度化
― 液体に浸して、回路を小型化 ―
- 32 鬼澤 諒介 特任助手
総合研究所
物理モデルと深層学習を用いた
高精度な散乱音場推定
― 音空間を少数の手がかりから再構築する ―
- 33 井上 淳 教授
工学部 機械工学科
移動と立体姿勢制御に関するバイオメカニクスの研究
連携先大学 文京学院大学
― 変形性膝関節症予防のためのフットウェア開発 ―
- 34 長原 礼宗 教授
理工学部 理工学科 生命科学系
3- スチルクロモン誘導体の構造活性相関解析と抗癌・抗炎症
機構の解明 連携先大学 明海大学・城西大学
― 未知のしくみをもつ抗がん剤の正体に迫る ―

東京電機大学 分析センター

TDU Analysis Center

2024年度に開設した分析センターは、学生自身が合成や作製した材料を自ら観察・評価できる体制を整えています。2025年度は5000件を超える利用があり、本学の教育/研究活動に貢献しています。

講習会受講から利用まで

センターでは機器を利用する学生に講習会の受講を課しています。講習会受講後に予約システムを用いて利用予約し、自ら装置を操作して研究に必要なデータを得ています。

講習会受講

機器の使い方などを学ぶ
講習会を受講

利用登録

オンライン予約システムに
ユーザー登録

利用予約

スマートフォン対応
予約システムで利用予約

機器利用

予約時間に機器利用

機器講習会の様子



共用機器

走査電子顕微鏡 (SEM)
蛍光顕微鏡
共焦点ラマン顕微鏡
粉末X線回折 (XRD)
蛍光X線分析 (XRF)
X線光電子分光 (XPS)
核磁気共鳴装置 (NMR)
熱分析装置 (TG-DTA)
など

設置機器の詳細やお問い合わせは下記までお願いいたします

東京電機大学 分析センター (TDU Analysis Center)

URL : <https://analysis.dendai.ac.jp/>

e-mail : analysis-op@jim.dendai.ac.jp



●お問い合わせ

東京電機大学 研究推進社会連携センター(CRC)

〒120-8551 東京都足立区千住旭町5番

東京電機大学 CRC

検索

<https://www.dendai.ac.jp/crc/>

総合研究所／研究推進担当

TEL. 03-5284-5230

e-mail: kenkyu-k@jim.dendai.ac.jp

産官学連携担当

TEL. 03-5284-5225

e-mail: crc@jim.dendai.ac.jp

分析センター

TEL. 03-5284-5230

e-mail: analysis-op@jim.dendai.ac.jp

